

A. 若年世代の進学・就職・結婚・出産・子育てに関する意識調査

- ・対象：青梅市に住む16歳から39歳までの男女2,000名（住民基本台帳より無作為抽出）
- ・時期：平成27年7月

B. 定住・移住に関する意識調査

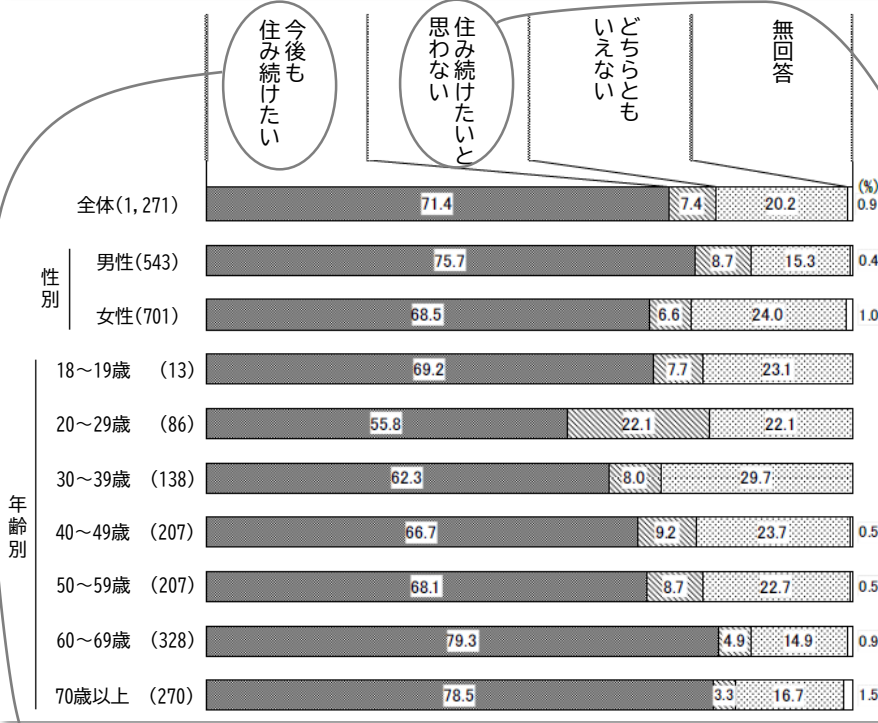
- ・対象：①平成25年4月1日以降に青梅市に転入した男女1,000名（住民基本台帳より無作為抽出）
②平成26年4月1日以降に青梅市から転出した男女1,000名（住民基本台帳より無作為抽出）
- ・時期：平成27年7月

C. 第29回市政世論調査

- ・対象：市内に居住する18歳以上の男女2,500名（住民基本台帳より無作為抽出）
- ・期間：平成28年6月

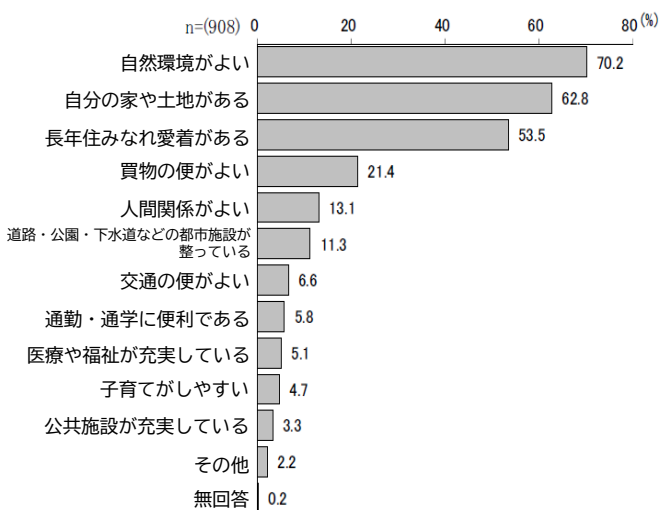
1 居住者の意向

(1) 今後の定住意向（全体、性別、年齢別）



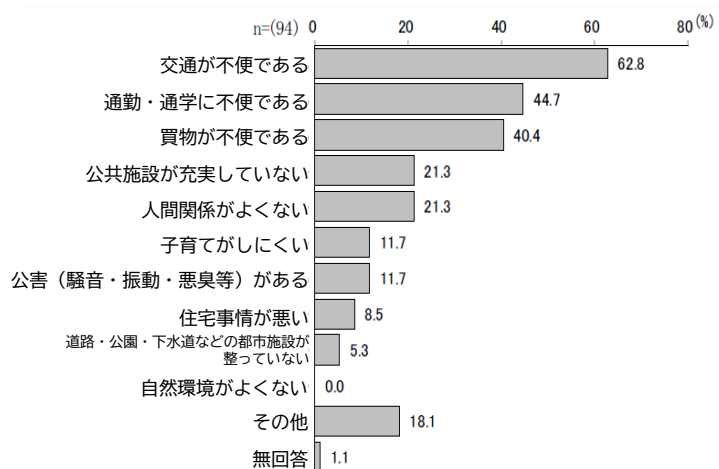
出展：第29回市政世論調査（C）

(2) 住み続けたい主な理由



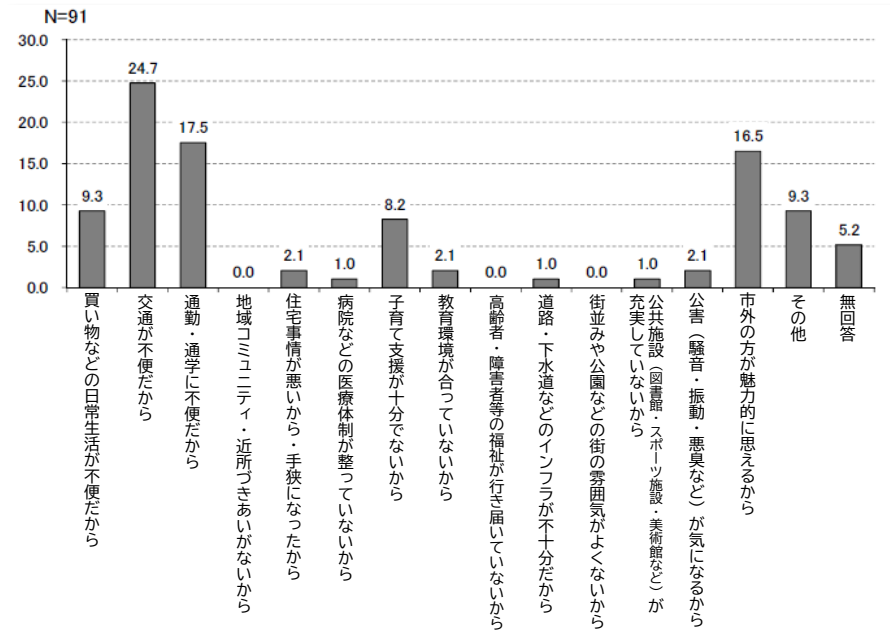
出展：第29回市政世論調査（C）

(3) 住み続けたいと思わない主な理由



出展：第29回市政世論調査（C）

(4) 若年世代が定住意向を持たない理由



出展：若年世代の進学・就職・結婚・出産・子育てに関する意識調査（A）

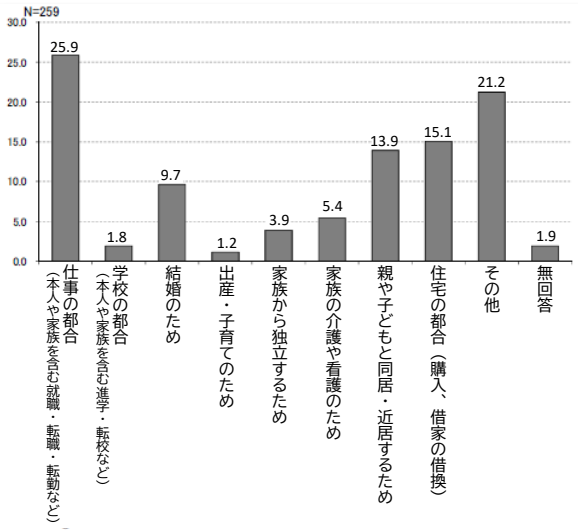
【居住者に関して】

「今後の定住意向（全体、性別、年齢別）」を見てみると、「全体」では「今後も住み続けたい」が71.4%の一方で、年齢別の「20～29歳」では「今後も住み続けたい」が「全体」と比較して15.6ポイント少なく、「住み続けたいと思わない」が14.7ポイント多くなっています。

また、「30～39歳」でも「今後も住み続けたい」が、「全体」より9.1ポイント少なくなっています。

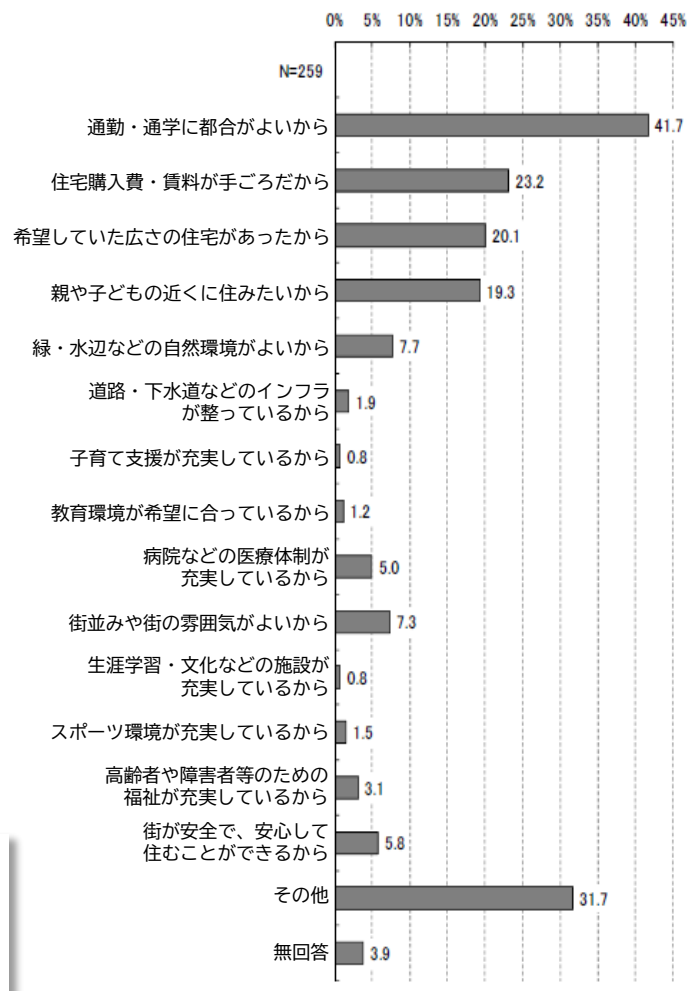
2 転出者の意向

(1) 青梅市から転出した理由



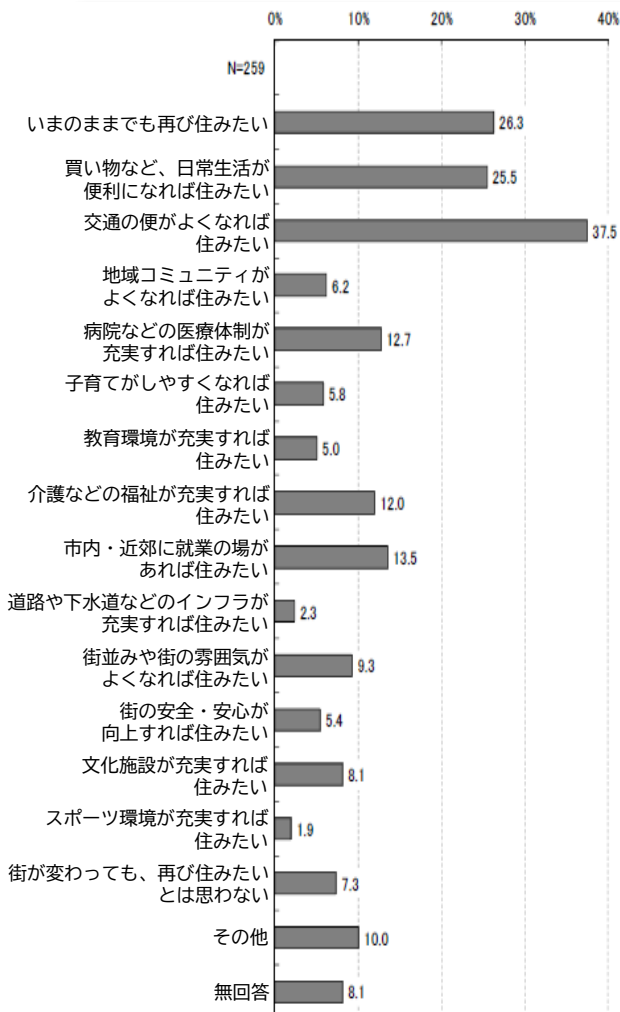
出展：定住・移住に関する意識調査（B）

(2) 転出先の自治体を選んだ理由



出展：定住・移住に関する意識調査（B）

(3) 改善すれば住みたいと思う点



出展：定住・移住に関する意識調査（B）

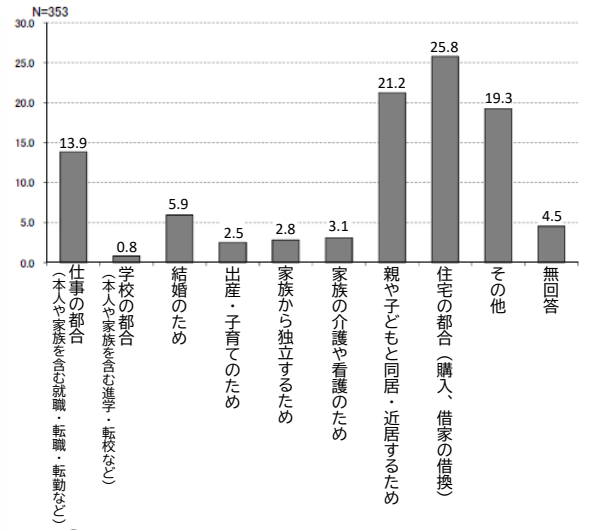
【転出に関して】

「青梅市から転出した理由」を見てみると、「仕事の都合」が最も多く、「転出先の自治体を選んだ理由」では「通勤・通学に都合がよいから」が最も多いことから、就職等に関連した機会に青梅市を離れる傾向にあることが想定されます。

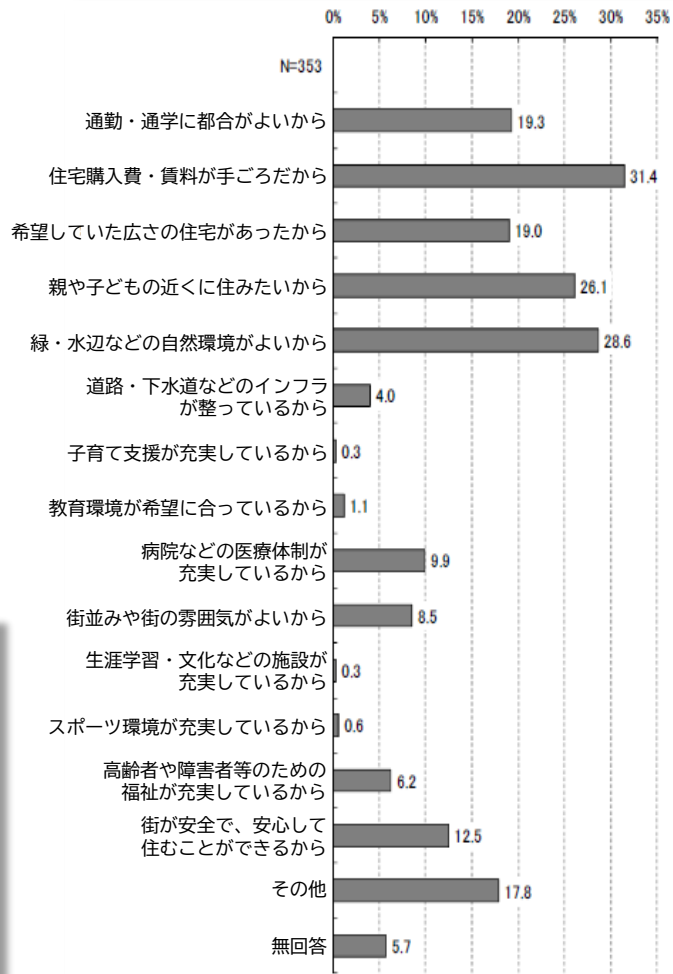
また、転出者に、「改善すれば住みたいと思う点」を聞くと、「住み続けたくないと思う理由」を反映して「交通の利便性」が最も多く、次いで買い物環境に対する理由（「買い物などの日常生活の利便性」・「商業などの街のにぎわい」）が多いことが特徴的です。

3 転入者の意向

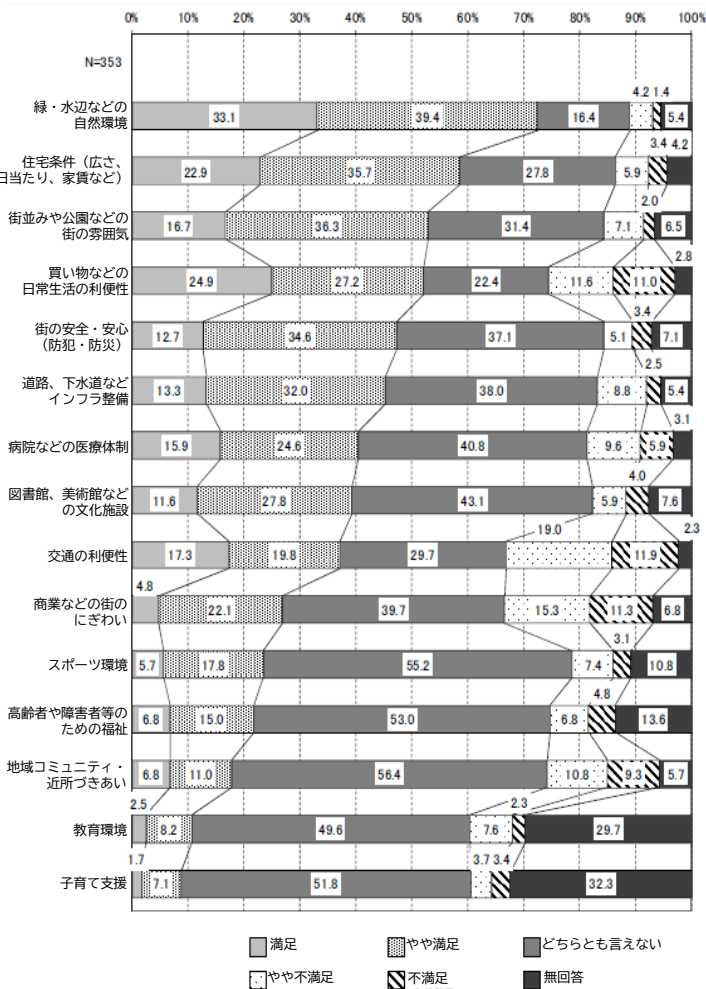
(1) 青梅市に転入した理由



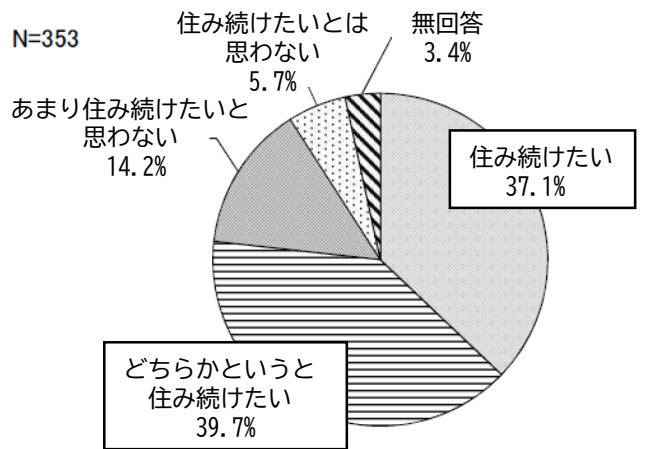
(2) 転入先に青梅市を選んだ理由



(3) 転入者における青梅市に対する満足度



(4) 転入者における定住意向



出展：定住・移住に関する意識調査 (B)

【転入に関して】

「青梅市に転入した理由」を見てみると、「住宅の都合」が最も多く、住宅を購入する等のタイミングでの転居が多いことがわかります。また、「転入先に青梅市を選んだ理由」で、住宅事情に次いで、「緑・水辺などの自然環境がよいから」という理由が多く、青梅市の豊かな自然は、青梅市が選択される際の強みと言えます。これは、「転入者における青梅市に対する満足度」で「緑・水辺などの自然環境」に対する満足度が最も高く72.5%もあることにも表れています。

なお、転入者についても居住者同様、「今後も住み続けたい」が76.8%と高い定住意向の結果です。